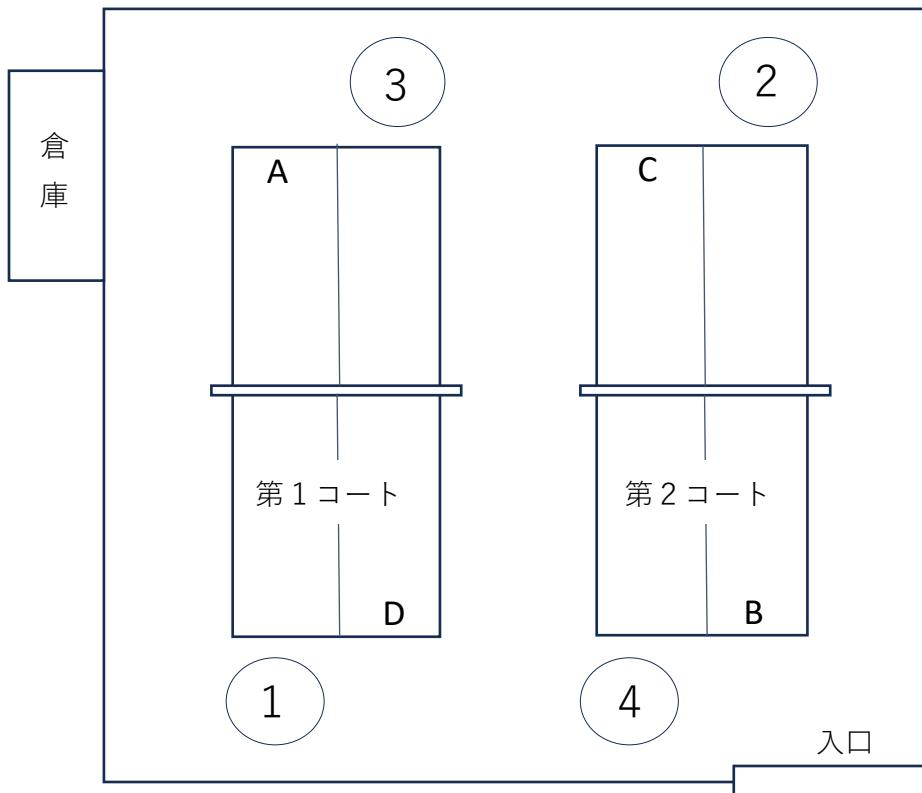


- 1、目的：会員数の増加に伴い待機人員が常態化してしまい、休憩及び再復帰の仕組みを明確にする必要が出てきた。
- 2、考え方：入れ替え場所をあらかじめ選定し、待機人数（9人目以降）に応じ指定場所に順次1名ずつの入れ替えを行っていく。
- 3、具体案
 - ・下図の通り待機者と復帰者との入れ替わる場所を①～④までの順序で決めておく。
 - ・・・○印は入れ替え場所、○内の数字は待機人数を示す。
 - ・1回終了ごとに反時計回りに1か所ずつ移動する。（現状の8名体制の場合と同じ）
 - ・待機者1名の場合・・・下図A個所終了後、対面コート①へ移動前に1回休憩
 - ・待機者2名の場合・・・下図A及びB個所終了後、対面コート①、②へ移動前に1回休憩
 - ・待機者3名の場合・・・下図A・B・C個所終了後、対面コート①、②及びコート変更③へ移動前に1回休憩とする。
 - (この場合②、③側は各コート2回プレー後1回休み)
 - ・待機者4名の場合・・・下図A・B・C・D個所終了後、対面コート①、②及びコート変更③、④へ移動前に1回休憩とする。
 - (この場合は全員2回終了後1回休みの繰り返し)
 - ・休憩者が復帰する場合は、休憩前箇所の次の箇所に入る。

<コート配置図>



4、メリット

- ・ペア相手、対戦相手が都度入れ替わり、プレーに変化ができる。

5、注記

- ・全会員数14名だが、長期欠席者が2名のため当面最大12名となり、上記対応の範囲でクリア可能。
- ・以上のやり方を原則とするが、10時30分以降は休憩者も増えるため、当日の流れに任せ都度対応とする。

—以上—